

平成28年度 佐渡市家庭科部 活動報告

部長 本間 博子

1 研究主題 「小・中の連携した家庭科授業のあり方」

2 研究の概要と実際

(1) 中学校免許外教科担当教員研修会への参加

日時 5月27日(金) 13時30分～16時30分

会場 佐渡市立南佐渡中学校

単元名 「健康と食生活」

授業者 佐渡市立南佐渡中学校 川上 英子教諭

指導者 全体指導 下越教育事務所 指導主事 森 和人 様

教科指導 佐渡市立両津中学校 教諭 中澤 民枝 様

〈授業の概要〉

- ・本時は、まず小学校で学習した5大栄養素に関する基礎的な事項を踏まえ、いろいろな栄養素が相互に関係をもちながら健康の保持・増進や成長のために役立っていることを学習する。その上で、中学生に必要な栄養の特徴について理解させ、健康によい食生活を主体的に営む力を育てていくことがねらいであった。授業を参観することで、小学校家庭科と中学校技術・家庭、家庭分野との学習内容の系統性を理解することができた。
- ・授業参観後に行われた基本縫い講習では、玉どめ、ボタン付け等の基本縫いを使って、イチゴのマスコット作りを行った。小学校5年家庭科の基本縫いの学習がつながっていくことが確認できた。

(2) 古着〈着なくなった服〉を使っての袋物作り(実習)

日時 12月7日(水) 15時～16時40分

会場 佐渡市立畑野小学校 家庭科室

指導者 さっこりHOUSE 三の宮 石塚 絹代 様

〈実習内容〉着なくなった服(ブラウス、セーター、ジーンズ、Tシャツ等)を利用して、ミシン縫いにより袋物を作る。



着なくなったブラウスを利用して



着なくなったジーンズを利用して



3 成果と課題

- 中学校の授業を参観させてもらったことで、小学校で学習したことが中学校でどのように発展していくのか、理解を深めることができた。また、中学校の授業につなげるために押さえておくべきことについても再確認できた。今後の授業に活かしたい。
- 古着を使った袋物作りでは、工夫することで今まで捨てていた物が新たな袋に生まれ変わった。リデュースの学習と関連づけて、今後の授業に活かしたい。
- △古着の再利用は子どもの技術では難しいので、簡単にできる作品の見本を提示し製作過程を丁寧に教える必要がある。